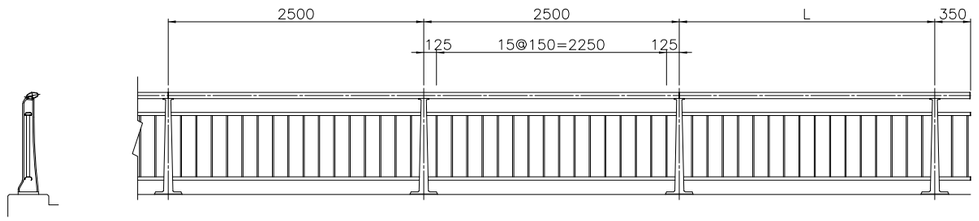
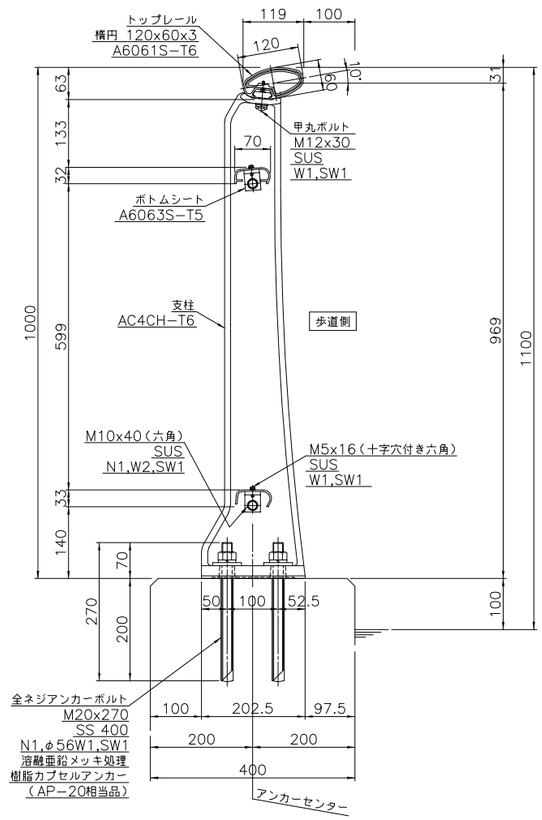
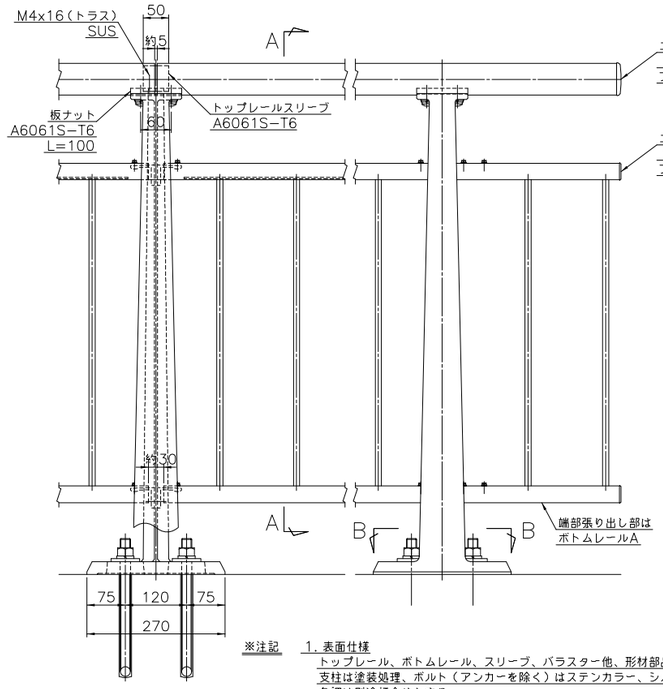
姿　図　S=1/30



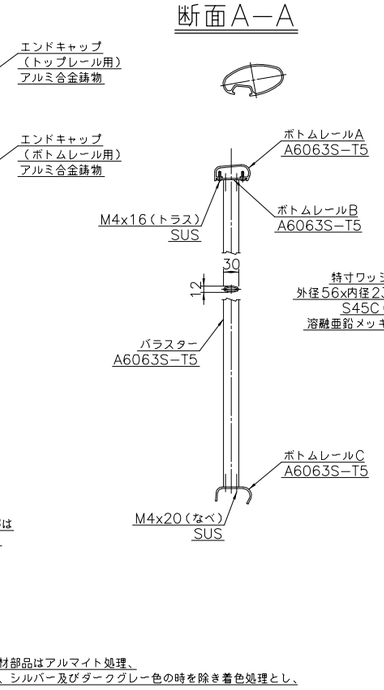
高欄取付詳細図　S=1/6



継手部

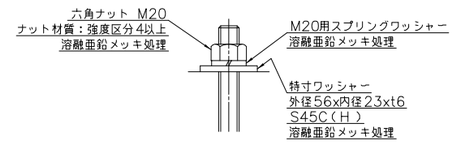


端　部

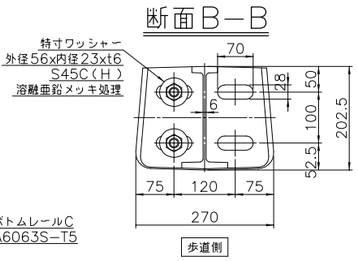


断面A−A

アンカーナット締め付け部　S=1/3



断面B−B



※注記

1. 表面仕様
   トップレール、ボトムレール、スリーブ、バラスター他、形材部品はアルマイト処理、
   支柱は塗装処理、ボルト（アンカーを除く）はステンカラー、シルバー及びダークグレー色の時を除き着色処理とし、
   色調は別途打合せとする。
2. 本高欄の設計・製作仕様は、（社）日本アルミニウム協会　土木製品開発委員会作成
   「アルミニウム合金製橋梁用防護柵設計要領」（平成30年6月）、
   「アルミニウム合金製橋梁用防護柵製作・施工要領」（平成27年3月）による。
3. 本高欄の支柱は、レベル用を示し、0~2.5%勾配に使用とする。
   5%用は2.5%~7.5%勾配に使用とする。
4. 強度区分の表記なきボルト類はA2−50以上とする。ただし、ビス類はA2とする。

コンクリート強度　σck=21N/mm^2 以上

日軽エンジニアリング（株）

KR−32E1−10CH

歩行者自転車用柵　SP種
H=1000mm　改修用
樹脂カプセルアンカー式

2025年2月